文部科学省

## 橋渡し研究支援機関認定制度

# 毎年度フォローアップ様式に関する留意事項

令和７年２月

研究振興局ライフサイエンス課

# 目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ３
タイトルに入れるべき年度について・・・・・・・・・・・Ｐ４
組織体制の説明について・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
合計FTEの考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
取組の成果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
人材育成の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

# はじめに

本資料は、要綱第８条に定めるフォローアップについて、これまで認定機関からあった問い合わせ等を踏まえ、「【様式１】毎年度フォローアップ（必須）」（以下「様式」）について、その留意事項をまとめたものです。

認定機関において、例年５月末頃までに文部科学省に提出するため、当該様式をご記入いただく際、合わせて本資料をご確認ください。

ご不明点等があれば、**メールで**文部科学省研究振興局ライフサイエンス課までお問い合わせください。３日以内に返事がない場合はお電話でのご連絡をお願いいたします。

連絡先
文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
橋渡し研究支援機関認定制度担当　宛
メール：life@mext.go.jp
電話：03-6734-4104

【用語の説明】
「要綱」：「橋渡し研究支援機関認定制度実施要綱」（令和３年３月３１日文部科学大臣決定）
「方針」：「橋渡し研究支援機関の認定及び運用に係る方針について」（令和３年３月３１日文部科学省研究振興局長決定）

# タイトルに入れるべき年度について

- フォローアップ報告書のタイトルにおいて入れるべき年度は、**報告を行う年度**を記載してください。

（様式１）

令和　　年度　フォローアップ報告書

令和　　年　　月　　日

文　部　科　学　大　臣　　殿

| | | |
|---|---|---|
| 機関名 | ： | |
| 役職 | ： | |
| 認定機関長名 | ： | |

（公印不要）

例えば、令和6年度における実績を**令和7年度に報告**する場合は、7を記載する。

# 組織体制の説明について（拠点において整備する組織体制 （方針１．（２）①）関連）

文部科学省

- 拠点において整備する組織体制 （方針１．（２）①）においては、各拠点における各種の機能や実施内容等を「機能」欄に記載いただいておりますが、それらを**担う部門等の整備状況***についても記載してください。*『２．組織体制、拠点の運営体制』の項目以外にも関連記載がある場合には転記すること、また、該当する内容の記載がない場合には新たに記載を追加すること
- 以下、各項目について、その記載方法を例示いたします。

ア 橋渡し研究支援を実施する専門人材を確保・登用する体制

✓ ・・・人事においては、選考を含む手続き、財源の決定、雇用期間管理、勤務評価等を●●で管理している。各部門からの要望に基づき、△△会議にて、新規雇用の可否及び財源を確定後、公募により各部門及び病院人事係担当者による選考が行われ、登用が決定される。◎◎については、優秀な人材は有期雇用から無期雇用に転換する制度がある。★★による□□収入は、人件費等として活用可能である。◆◆については、××との兼業も可能としている。キャリアアップについては、☆☆に基づき評価がなされ、昇給はそれに加え■■に基づき判断される。

イ 橋渡し研究に対する国民の理解を高めるための啓発・広報活動を実施する体制

✓ ・・・広報、啓発、情報交換及び講演会等の開催に関することは●●が所掌している。実際の拠点の広報・啓発活動の企画及び実施は、●●が××と連携して実施する体制となっている。

ウ 橋渡し研究支援を実施する専門人材が情報交換をする体制

✓ ・・・橋渡し拠点内の意見交換の場としては、月に〇回、〇〇が事務局を担う●●会議を開催する他、××という取組を行っている。さらに、臨床における意見を取り入れるために、××と★★という連携を行っている。また、人材交流の取組として、〇〇が■■を行っている。拠点外の専門人材との交流について、☆☆が◆◆という制度を設けている。

エ シーズを発掘・評価・選定する体制

✓ ・・・個別シーズの開発状況等については、〇〇が事務局を担う●●会議を通じて、評価、審査、Go/No Go判断等が行われる。また、その会議には、◆◆、××、□□等、幅広いメンバーで構成されている。

オ プロジェクトを管理する体制

✓ ・・・××において、●●という体制を設けており、それは★★で構成される。各シーズは◆◆に割り振られ、進捗管理がなされるとともに、各開発段階において□□、××、・・・の支援を行う。

# 合計FTEの考え方について（拠点において確保する人員（方針１.（２）①別表１）関連）

文部科学省

- **「合計FTE」**については、方針等で基準を設けているものではありませんが、各拠点の**活動状況を把握するための指標の一つ**として、「専門人材別FTE」とは別に記載をお願いしているものです。
- また、「合計FTE」欄において、**「拠点間連携担当者・拠点外支援担当者」のFTEはその他の項目における合計FTEに追加で合算しない**ようにお願いいたします。

| 橋渡し研究支援を実施する専門人材 | 人頭 | 担当者 | 当該業務に従事した期間 | FTE | 専門人材別FTE | 合計FTE | 当該業務に関する必要な知識及び経験を有していることの説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点長 | | | | | | | |
| 拠点統括 | | | | | | | |
| 開発企画担当者 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| シーズ発掘担当者 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| シーズ評価担当者 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| プロジェクトマネージャー | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 拠点間連携担当者・拠点外支援担当者 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

「拠点間連携担当者・拠点外支援担当者」のFTEは合算しない

※（注）3のとおり、「拠点間連携担当者・拠点外支援担当者」のFTEは「プロジェクトマネージャーの内数」であるため

赤枠の合計FTEの内数として記載いただく

# 取組の成果について（拠点において実施する取組（方針１．（３）③別表４）関連）

文部科学省

- 拠点において実施する取組（方針１．（３）③別表４）の「１．取組の成果（件数）」においては、様式中（注）１にも記載がありますが、初回フォローアップではない場合、**認定日の翌年度以降前年度までの合計件数**をご記入ください。
- 前年度の実績については、「２．具体的な成果」において確認させていただきます（様式中（注）11にも記載のあるとおり、前年度の実績については下線を引いてください。）。
- なお、記載する成果については、**原則としてBRIDGEシステムに登録しているシーズ***としています。
  *例外として、認定制度開始以前に支援が終了し、この度実績に結びついた課題についてはBRIDGEへの登録は必須としません
- また、「シーズの管理番号及び名称」の欄のうち、「名称」は原則としてBRIDGE上の**研究課題名を記載**し、**開発物（製品候補）の名称が決まっている場合**は、その名称も**併せて記載**してください。

初回フォローアップではない場合

１．取組の成果（件数）

| | ①基本特許（物質、用途）あり | ②周辺特許あり（①を除く） | ③特許なし |
|---|---|---|---|
| 臨床試験の届出件数 | | | |
| 企業等への導出件数 | | | |
| 製造販売承認・認証の申請件数 | | | |

認定日の翌年度以降前年度までの合計件数

原則としてBRIIDGE上の研究課題名を記載
開発物（製品候補）の名称が決まっていればその名称も併せて記載

２．具体的な成果

（１）臨床試験の届出

| 番号 | シーズの管理番号及び名称 | 種別 | 臨床研究名 | 届出日 | 登録 ID 等 | 医薬品等区分 | 疾病等分類 | フェーズ（Phase） | 特許 | 自機関 | 支援内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | | | |

（２）企業等への導出

| 番号 | シーズの管理番号及び名称 | 種別 | 契約の名称 | 導出日 | 医薬品等区分 | 疾病等分類 | 特許 | 自機関 | 支援内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | |

（３）製造販売承認・認証の申請

| 番号 | シーズの管理番号及び名称 | 種別 | 申請企業 | 申請日及び受付番号 | 医薬品等区分 | 疾病等分類 | 特許 | 自機関 | 支援内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | |

認定日の翌年度以降前年度までの実績を記載。
前年度１年間の実績については下線を引く。

# 人材育成の取組について（拠点における人材育成の取組（方針１．（４）①））

文部科学省

- 拠点における人材育成の取組（方針１．（４）①）においては、橋渡し研究支援を実施する専門人材や橋渡し研究を実施する研究者の育成に関する取組を記載いただいております。
- **（注）２**にも記載がありますが、**拠点内のどの部門で実施しているか**について、記載漏れの無いようにお願いいたします。
- また、**（注）５**についても、記載漏れの無いようにお願いいたします。

（注）１　拠点が主導している、あるいは主体的に実施している取組を記載すること。
２　拠点内のどの部門で実施しているか、わかるように記載すること。
３　セミナーについては個別人材別に回数や頻度（年に１回以上など）、対象者（拠点内外含む）がわかるように記載すること。
４　現状のすでに専門性を有した人材だけではなく、若手の育成の観点も記載すること。
５　拠点が実施する講義やワークショップ等の人材育成プログラムごとの実績として、拠点内外への人材配置に至った人数も記載すること。人材配置に至った実績がない場合は、その旨記載すること。

記載がないケースが多数見受けられるので、記載漏れの無いようにお願いいたします。